

電 力 情 報

NO. 14

平成 23 年 5 月 25 日

東 北 電 力 (株)

4 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

4 月分の販売電力量は、55 億 6,800 万 kWh、対前年比 79.7% の実績となり、東日本大震災の影響から、2 カ月連続で前年実績を下回りました。なお、当月の対前年比 79.7% につきましては、月分の販売電力量として過去最大の割れ幅となります。

用途別については以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、東日本大震災の影響から、対前年比 88.0% の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 87.5% の実績となりました。

○ 特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、東日本大震災の影響から対前年比 76.9% と、前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 74.7% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、東日本大震災の影響から、対前年比 71.1% の実績となり、2 カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

4月の発受電電力量の合計は、58億2,200万kWh、対前年比80.8%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、2カ月連続で前年実績を下回りました。なお、今回の対前年比80.8%につきましては、月間の発受電電力量としては過去最大の割れ幅となります。

（自社水力）

出水率は96.9%の渇水となりましたが、前年に比べて水力発電所の作業停止が少なかったことなどから、発電量は、前年を1,500万kWh上回る9億1,700万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を4億3,000万kWh上回る33億400万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響により、女川原子力発電所の全号機が停止中であること、および東通原子力発電所1号機が定期検査で停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を200万kWh下回る7,300万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を9億8,700万kWh下回る10億200万kWhとなりました。

以 上